

3. 人材(スキル)確保の取り組み -1

(1) 専門機関(県)での研修(人材育成);

- ①保育士を派遣
- ②週3日・専門機関研修＋週2日・支援業務
- ③専門的スキルを習得
- ④研修と業務の相乗効果
 - 現場の課題を持参して研修
 - 研修内容(具体策)を現場へ

9

3. 人材(スキル)確保の取り組み -2

(2) 専門機関のスーパーバイズ;

- ①局面に即して
 - 体制づくり
 - スキルアップ など
- ②個別ケース対応
 - ケース検討会
 - 日常的なケース対応 など

10

3. 人材(スキル)確保の取り組み -3

(3) 家庭児童相談室との連携;

- ①相互に補完
 - 家庭児童相談室で心理診断・助言等を得る
 - 心理診断・助言等を具体的な手立てにつなげる
- ②相談支援のスキルを活用
- ③関連分野も含め幅広く支援
- ④在籍機関と家庭との連携を強化

11

3. 人材(スキル)確保の取り組み -4

(4) 子どもを守る地域ネットワークを活用

- ①円滑な連携の基盤
- ②子ども虐待予防の観点での取り組み
- ③ケース管理のスキルを応用

12

4. 効果の兆し・・・ -1

(1) 子どもに即した保育・教育の展開;

- ①どの子にも分かりやすい保育
- ②“後追い保育”でなく“先取り保育”を
- ③的確な加配

4. 効果の兆し・・・ -2

(2) 支援の充実;

- ①相談先の明確化
- ②引継の充実
 - 就学指導等への寄与
 - 将来を見据えた支援
- ③保護者と共同歩調

5. 今後の展開(課題) -1

(1) スキルの蓄積と浸透;

- ①専門的スキルの蓄積
- ②意識差・スキル差の解消

(2) 療育の充実;

①重層的な療育の展開

- 専門的な療育……専門機関での療育
- 身近な療育………在住地域での療育
- 日常的な療育………在籍機関での療育
- 家庭でのかかわり

相互に連携

15

4. 効果の兆し…… -3

(3) 意識の変化;

- ①大人が変われば、子どもも変わる
- ②地域全体の枠組みの中で自機関の役割を考える
- ③しっかりと子どもに向き合う
- ④“お墨付き”があると心強い

16

5. 今後の展開(課題) -2

(3) 大人への支援の充実;

①生活支援・就労支援の充実